

第12回 高崎学検定

令和6年10月26日（土）



—— 問題と解説 ——

問 1

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

古墳時代の首長居館はいまだに発見例は少なく、国指定史跡として保存されているのは全国で11例ほどです。これらの中でも最も大規模なのが冷水町・引間町に所在する【ア】になります。居館は一辺90メートルの方形で、四方を幅30メートル以上に及ぶ水を蓄えた濠で囲み、斜面に【イ】を施しています。さらに2023年度から史跡の内容確認のための発掘調査が開始され、居館を囲う【ウ】状の遺構も確認されました。これらの特徴は南西約3キロメートルの三ツ寺Ⅰ遺跡と共通し注目されます。

- ア (1) 入野遺跡 (2) 北新波砦跡
 (3) 北谷遺跡 (4) 日高遺跡

〔正解 3〕

- イ (1) 石積み (2) 板 (3) 杭 (4) 植栽

〔正解 1〕

- ウ (1) 円筒埴輪列 (2) 垣根 (3) 柵列 (4) 築地塀

〔正解 3〕

●解説

北谷遺跡は5世紀後半から6世紀初頭にかけての一辺約90メートル四方の居館です。国指定史跡の中でも最も大規模な首長居館になります。

居館の斜面には石積みが施され、周囲には張出しがあり、居館外周には柵列状の遺構が確認されるなど、南西約3キロメートルの三ツ寺Ⅰ遺跡と共通しています。三ツ寺Ⅰ遺跡は北西約1キロメートルの保渡田古墳群の被葬者に関わる居館と考えられていますが、北谷遺跡の主の墓は、前橋市総社町周辺の古墳が候補にあげられています。

問 2

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

博物館に展示された古代の遺物で、ひととき人気が高いのが埴輪です。人物埴輪は古墳の一面に並べられており、被葬者が生前に行ったまったりごとの様子を表現したと考える説、他界の様子を表したとする説などがあります。

高崎市からは、全国的にも優れた埴輪が出土しています。綿貫観音山古墳の埴輪は【ア】に指定されており、一つの台座に3人の女子を乗せた像などが有名です。八幡原町出土の【イ】の埴輪は奈良県の天理大学附属天理参考館に所蔵され、国指定重要文化財となっています。また、54体の埴輪が確認された【ウ】古墳の資料は、火山灰で埋もれたために立てられた位置をとどめており、埴輪群像の意味を探るうえで重要な資料とされています。2024年秋には、東京国立博物館で50年ぶりの「埴輪展」が開催され、高崎市出土の埴輪も数多く出品されます。

- ア (1) 国重要美術品 (2) 国宝
(3) 国重要文化財 (4) 国無形文化財

〔正解 2〕

- イ (1) あぐらをかく王 (2) 正座する巫女
(3) 武装した男 (4) 笑う男

〔正解 1〕

- ウ (1) 山名伊勢塚 (2) 井出二子山
(3) 元島名将軍塚 (4) 保渡田八幡塚

〔正解 4〕

●解説

群馬県は「埴輪王国」として知られています。埴輪は、古墳の装飾として3世紀中頃から6世紀末まで作られましたが、群馬県地域では特に5～6世紀に多くの埴輪が生産されました。群馬県地域は古墳時代には「上毛野」と呼ばれ、当時の倭国のなかでも屈指の勢力地であり、大規模な古墳が築造されました。このため、埴輪も大量に作られたのです。

とくに人物・動物埴輪に優れたものが多く知られています。高崎市出土の埴輪では、5世紀後半の保渡田八幡塚古墳の埴輪群、6世紀後半の綿貫観音山古墳の埴輪群が著名です。いずれも、多数の埴輪が元の位置のままに発見され、埴輪同士の関係性から、古墳被葬者が生前に行った儀礼の様子を推定することができます。

綿貫観音山古墳の埴輪群は、大型で造形が優れており、あぐら坐で合掌する王、正座で王に対面する巫女、水を捧げ持つ立ち姿の女子、鳴弦する三人の女子、盛装する男子、武装する男子、多数の馬形埴輪などが国宝に指定されています。

保渡田八幡塚古墳の埴輪はかみつけの里博物館で、綿貫観音山古墳の埴輪は群馬県立歴史博物館で見学することができます。

問3

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

八幡町の観音塚古墳は、全国有数の【ア】の横穴式石室として著名です。この石室は太平洋戦争末期に発見され、未盗掘であったために豪華な遺物が残されていました。なかでも、中国または朝鮮半島製とみられる【イ】は、国内で出土した同種の遺物のなかで最高峰の逸品として知られています。また、馬具に施された透かし彫りは、【ウ】の仏像の光背の火焰意匠と共通し、大和国の工房で作られた可能性が指摘されています。これらの出土品は、すべて国の重要文化財に指定されています。

ア (1) 模様積み (2) 巨石積み (3) 切石積み (4) 瓦積み
〔正解 2〕

イ (1) 銅鏡 (2) 大刀 (3) 耳飾り (4) 冠
〔正解 1〕

ウ (1) 山田寺 (2) 長谷寺 (3) 法隆寺 (4) 薬師寺
〔正解 3〕

●解説

八幡観音塚古墳は、八幡町に所在する墳長105メートルの前方後円墳です。6世紀後半に築造されました。太平洋戦争末期の1945（昭和20）年3月、防空壕の掘削に際して未盗掘の石室が発見されました。内部には、300点に及ぶ副葬品が残されていました。青銅鏡・飾り金具・多数の馬具・大刀・須恵器などが知られていますが、中でも注目されるのが、銅製容器類です。

受け皿にのせられ、蓋がセットとなった脚台付の甕が2点、蓋が付かない大ぶりの甕が2点です。蓋には宝珠型のつまみが付いています。

これらは、型に青銅（銅・鉛・錫の合金）を流し込んで整形したあと、ロクロで薄く削って整えたものです。現在、外面は錆である緑青に覆われ、ところどころ元々の黄金色が見えていますが、蓋を外した内面は状態が良く、全面に金色がとどめられています。

脚台付の甕は、台が高いものと低いものがあり、高いものには連続する凹線（匙取り）があしらわれていて優美です。低いものはどっしりとした安定感を示しています。

同種の脚台付き甕は、国内の古墳からいくつか見つかっています。しかし観音塚古墳のものはなかでも最古級であり、しかも保存状態がきわめて良好です。これは、青銅の成分の中でも錫の比率が多かったためと推定されています。錫が多いと青銅は固くなり黄金色が際立ちますが、脆さが増して加工が難しいといえます。高度な技術で作られた観音塚古墳の甕は、中国あるいは朝鮮半島で作られ、有力な古墳の主の手に渡ったのでしょうか。

問4

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

国特別史跡ならびに「世界の記憶」に登録されている多胡碑は、奈良時代の【ア】に多胡郡が建郡されたことを記念した石碑です。新設された多胡郡家（郡役所）の傍に建てられたと考えられます。

高崎市では多胡郡家の発見を目指して2011年度から発掘調査を進めたところ、多胡碑の南方400メートルの高台に巨大な【イ】を

備えた瓦葺きの建物群を確認しました。これは多胡郡家の一面をなす【ウ】の建物群であると考えられます。建郡碑と郡家のセットが判明したことから、建物群の一带は2020年に国史跡に指定され、現在土地の買い上げが進んでいます。

- ア (1) 471年 (2) 681年
(3) 711 (和銅4)年 (4) 726 (神亀3)年
〔正解 3〕
- イ (1) 心礎 (2) 礎石 (3) 墳丘 (4) 石室
〔正解 2〕
- ウ (1) 郡庁 (2) 郡寺 (3) 厨くりや (4) 正倉しょうそう
〔正解 4〕

●解説

奈良時代前期の711 (和銅4) 年、高崎市の南部一带に多胡郡が新設されました。行政再編によって、片岡郡・みどののこおり緑野郡・甘楽郡の3郡から6つの郷を割き、新たな郡が設置されたのです。この建郡を記念して建てられたのが、国特別史跡の多胡碑です。その碑文からは、「羊」という人物が初代の郡長官となったことが分かります。「羊」は渡来系の人物と考えられており、高い技術によって一带の産業を振興させ、その経済力と政治力によって建郡を達成したと考えられます。

多胡郡の郡役所 (多胡郡家) の場所は長らく不明でしたが、高崎市による2012年度からの確認調査によって、多胡碑から南方へ約350メートルの高台に「正倉跡」が発見されました。これは、郡家の施設の一部で、郡内から徴収した穀などを保管する重要な施設です。溝で囲まれた約200メートル四方の範囲に、瓦葺きで礎石の上に建つ倉庫が何棟も立ち並んでいたことが分かりました。

建郡を記念した碑と、郡家の施設がセットで判明したという重要性に鑑み、2020年3月に国史跡に指定されました。現在は公有地化が進められていますが、仮整備によって最大規模の倉庫である「法倉」の礎石を見ることができます。

問 5

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

奈良時代には、【ア】天皇の詔をうけて、日本の諸国に国分寺が造営されました。国分寺は、男の僧が勤める国分僧寺（金光明こんこうみょう四天王護国之寺）と、女の僧が勤める国分尼寺（【イ】）の二つから成り、多くの場合は近接して建てられました。

上野国の国分僧寺跡・尼寺跡は、高崎市北東部（東国分町・引間町、一部前橋市）にあり、関越自動車道を挟んで東西に並んでいます。僧寺跡は古くから保護され史跡公園となっていますが、尼寺跡は長らく保存に手がつかない状態でした。このため、高崎市では2016年度から確認調査を進め、寺域と金堂・回廊・尼坊の構造を明らかにしました。その結果、2024年6月、国文化審議会が【ウ】に指定するよう答申しました。今後は僧寺とともに末永く保護されていくことでしょう。

ア（１）天武 （２）元明 （３）聖武 （４）桓武
〔正解 ３〕

イ（１）法華滅罪之寺（ほっけめつざいのてら） （２）六波羅蜜寺（ろくはらみつじ）
（３）唐招提寺（こんごうぶじ） （４）金剛峯寺
〔正解 １〕

ウ（１）重要文化財 （２）無形文化財
（３）世界文化遺産 （４）史跡
〔正解 ４〕

●解説

奈良時代の741(天平13)年、聖武天皇は国々に国分寺の建立を命じました(国分寺建立の詔)。天皇の即位後、政変や大地震が発生し、天然痘が大流行しました。天然痘では当時の人口の2～3割が死亡したとする説があり、政権の中枢にいた藤原氏の高官らも次々と亡くなりました。天皇はこうした社会不安を払拭するため、仏教の力で国を守ろうとしたのです(鎮護国家)。詔を受け、全国60以上の国に国分寺が建立されました。

国分寺は、金光明四天王護国之寺(国分僧寺)、法華滅罪之寺(国分尼寺)の二つから構成されました。およそ200メートル四方の寺域を

持ち、瓦葺きの伽藍^{がらん}を有する国分寺の建設は、地域社会にとって未曾有の大事業でした。

上野国の国分寺は、高崎市東国分町から前橋市元総社町にかけての一带に造営されました。現在は関越自動車道を挟んで、西に国分僧寺、東に国分尼寺が位置しています。僧寺と尼寺が揃って残されているのは全国的にも貴重です。僧寺は1926(大正15)年に国史跡となり、1990年代には史跡公園として整備されました。しかし、尼寺は一部の確認がなされただけで、長く未指定のままでした。

近年、前橋市側から宅地化が迫ったため、高崎市では2016年から尼寺の学術調査を開始しました。その結果、寺域を区画する築垣^{ついがき}、回廊・金堂、尼坊といった伽藍の跡が検出され、全体の規模と範囲を確定しました。尼坊や回廊では状態のよい礎石も確認されました。このため地権者の同意を得た部分について国の史跡に申請し、2024年10月に史跡として指定されました。今後は僧寺・尼寺が一体的に保存活用されていくことが望まれます。

問 6

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

榛名神社は古来より開運、五穀豊穰、商売繁盛に御利益があると言われ、多くの人から厚い信仰を集めてきました。また、巨石群で構成される山塊は【ア】の行場として栄えてきました。

神仏習合が進む中、衰微した時期もありましたが、江戸時代に入ると天海僧正によって復興され、【イ】を称し、上野寛永寺の支配を受けるようになりました。

その後、1868(慶応4)年に出された神仏分離令により、榛名神社として復活しますが、この時、堂塔の取り壊し、仏像、仏具の廃棄が言い渡され、仏教色の一掃が図られました。堂塔の一つで当時改築中であった【ウ】も解体の運命にありましたが、破却は免れ、神宝殿と名を変え、今に伝わります。また、神社入り口にあった仁王門は【エ】となり、仁王像に代わった左右の神像が鳥居をくぐった参拝者を迎えています。

- ア (1) 修験道 (2) 鬼道 (3) 陰陽道 (4) 施餓鬼道
〔正解 1〕
- イ (1) 榛東寺 (2) 巖殿寺 (3) 極楽院 (4) 般若寺
〔正解 2〕
- ウ (1) 舍利殿 (2) 経蔵 (3) 五重塔 (4) 三重塔
〔正解 4〕
- エ (1) 双龍門 (2) 飛龍門 (3) 随神門 (4) 朱雀門
〔正解 3〕

●解説

巨石群で構成される榛名神社の山塊は古くは修験道の行場として栄えました。全国の主要な神社を書き留めた『延喜式神名帳』(927(延長5)年)には上野国十二社の群馬郡小社として榛名神社の名が見えることから、榛名神社が格式の高い神社であったことを窺うことができます。

鎌倉時代には三千百坊の堂宇があったとされ、中世には密教の道場として繁栄しました。しかし、戦国時代になると衰微し、それまで一山を支配していた座主職もいなくなっていました。

江戸時代に入ると天海僧正によって復興を遂げ、榛名山巖殿寺を称し、上野寛永寺の支配を受けるようになりました。御師により、宿坊が営まれ、代参講など多くの参詣客で賑わいました。

その後、1868(慶応4)年に出された神仏分離令により、榛名神社として復活し、堂塔の取り壊し、仏像、仏具の廃棄が言い渡され、仏教色の一掃が図られました。この時、堂塔の一つで改築中であった三重塔も解体の運命にありましたが、神宝殿と名を変え、今に伝わります。県内に残る唯一の木造の三重塔として、県重要文化財に指定されています。

また、神社入り口にあった仁王門は随神門となり、仁王に代わって神像が配置されています。随神門は本殿、拝殿、双龍門などとともに国指定重要文化財となっています。

問 7

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

864(貞観6)年に慈覚大師円仁を開山とする天台宗の古刹【ア】は、当時は関東第一の大伽藍でした。寺宝の勅額は、後醍醐天皇が【イ】に書かせ下賜されたと伝えられる市指定重要文化財です。また、当寺の16世一元上人に招かれた高崎城下や寺院近辺の文人等が、「近江八景」にならって「【ウ】八景」を漢詩や和歌に詠み、それぞれに狩野派の画人が絵を画いた絵巻が伝わっています。

ア (1) 恵徳寺 (2) 慈眼寺 (3) 常仙寺 (4) 天龍護国寺
〔正解 4〕

イ (1) おののとうふう 小野道風 (2) すがわらのみちざね 菅原道真
(3) ふじわらのていか 藤原定家 (4) ほんあみこうえつ 本阿弥光悦
〔正解 1〕

ウ (1) 赤坂 (2) 高崎 (3) 並榎 (4) 和田
〔正解 3〕

●解説

第3代天台座主に任命された円仁は慈覚大師と称され、全国^{ぐほう}求法の旅をしたことから多くの逸話が各地に残り、高崎市並榎町に建つ新比叡山本実成院天龍護国寺も円仁が開山した寺といわれます。開山当時は関東第一の大伽藍で境内には300もの僧坊があったとのこと。寺宝に「天龍護国寺」の勅額がありますが、これは後醍醐天皇が928(延長6)年に小野道風に書かせ、額として下賜されたものと伝えられています。額の裏面には1620(元和6)年の修理銘が書かれており、市指定重要文化財になっています。

当寺は1785(天明5)年に大風と出火で焼失しましたが、1801(享和元)年に再建されると、自らも和歌を詠む文人であった16世一元上人(慈縁)は、高崎城下や近辺の文人等を招き、彼等に「近江八景」にならい「並榎八景」を漢詩や和歌に詠んでもらい、これに本郷村(現高崎市本郷町)の画人で狩野派の神宮守満が八景を描き、「新比叡山八景絵巻」という一巻絵巻に仕上げ、現在も当寺に伝わっています。

問 8

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

【ア】八幡宮は【ア】荘の中心に創建され上野国一社八幡宮とも称されます。社伝によれば、957（天徳元）年に山城国石清水八幡宮を勧請したとし、【イ】の祈願を伝えています。江戸時代になると徳川家の信仰も厚く、慶安年中には、朱印地100石が幕府から寄進されました。

境内には17世紀後半～19世紀前期ごろの建造物9棟が一体的に保存されています。建物ごとの装飾化の発展過程がわかる点などから、2024年3月に【ウ】に指定されました。

ア（１）井戸 （２）山名 （３）八幡 （４）若宮
〔正解 ３〕

イ（１）ごしらかわ後白河天皇 （２）たいらのきよもり平清盛
（３）ふじわらのみちなが藤原道長 （４）みなもとのよりとも源頼朝
〔正解 ４〕

ウ（１）国重要文化財 （２）県重要文化財
（３）県史跡 （４）市重要文化財
〔正解 ２〕

●解説

新田氏一族の荘園として知られる八幡荘の中心に鎮座するのが八幡八幡宮です。957（天徳元）年に山城国石清水八幡宮を勧請したと伝わっています。八幡宮には「八幡八幡宮唐銅燈籠一対」、「八幡八幡宮の胴丸」などの市指定重要文化財があるのに加えて、「八幡八幡宮の算額」のほかに、江戸時代の建造物9棟が2024年3月に県指定重要文化財になるなど、多くの貴重な文化財がある神社です。

問 9

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

【ア】は、12世紀末の源氏と平氏の争いである源平合戦において源氏再興のために挙兵した一人で、信濃で挙兵後、上野に入部し、さらに都落ちする平氏を追って、1183(寿永2)年7月に入京し、翌年には一時的に征夷大將軍になっています。【ア】の父は【イ】で、多胡荘を有していたことが知られ、この地域が武士の棟梁と仰がれた源氏の一族とゆかりの深い荘園であったことが知られます。なお、【イ】の館は吉井町多胡の市指定史跡「多胡館跡」といわれています。

- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| ア (1) <small>あしかがよしかね</small> 足利義兼 | (2) <small>き そ よしなか</small> 木曾義仲 |
| (3) <small>さと み よしなり</small> 里見義成 | (4) <small>に っ た よししげ</small> 新田義重 |

〔正解 2〕

- | | |
|------------------------------------|----------------------------------|
| イ (1) <small>みなもとのよしかた</small> 源義賢 | (2) <small>みなもとのよしつね</small> 源義経 |
| (3) <small>みなもとのよしとも</small> 源義朝 | (4) <small>みなもとのよしひら</small> 源義平 |

〔正解 1〕

●解説

平安時代末に新田義重の子義俊が里見に、同じく義重の子義範が山名を拠点にして勢力を拡大するなど新田氏一族の荘園である八幡荘が高崎市域に広がっていました。八幡荘以外にも源平合戦で活躍した木曾義仲の父である源義賢は多胡荘を有しているなど、市域は源氏一族との関わりが強い地域であったことが知られています。

問 10

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

14世紀中ごろ、室町幕府を開いた將軍あしかがたかうじ足利尊氏と弟直義ただよしの幕府内の対立として起こった争いとして【ア】があります。南朝との関

係もからんで関東地方でも両勢力が争いました。

この時に今の静岡市清水区にある薩埵山^{さつたやま}で戦いが起こりました。高崎市域では武士団の【 イ 】に属して勢力を持ち【 ウ 】を拠点にした大類弾正らが功名をあげようと単独で足利尊氏方を攻めましたが反撃されて討ち死にしました。

なお、山名が祖先発祥の地で、初代山名義範より七代下った【 エ 】は幕府内で確実に実力を築き、この時期は足利直義側にいました。

- ア (1) 観応^{かんのう}の擾乱^{じょうらん}
(2) 元弘^{げんこう}の乱
(3) 享徳^{きょうとく}の乱
(4) 上杉禅秀^{うえすぎぜんしゅう}の乱

〔正解 1〕

- イ (1) 横山党 (2) 猪股党 (3) 村山党 (4) 児玉党

〔正解 4〕

- ウ (1) 山名館 (2) 大類館 (3) 天田館 (4) 木部館

〔正解 2〕

- エ (1) 新田義重^{にったよししげ}
やまなときうじ (2) 新田義貞^{にったよしただ}
やまなそうぜん (3) 山名時氏 (4) 山名宗全

〔正解 3〕

●解説

南北朝時代の初めのことです。室町幕府も最初は順調かと思えましたが足利家の執事高師直^{しつじこうのもろなお}が発言力を強めていくことなどを経て將軍足利尊氏と弟直義の幕府内の対立として「観応の擾乱」という争いが起こりました。関東地方でも両勢力が争い、1351(観応2)年に足利直義は北陸から関東に移り、京都から下る尊氏と今の静岡市清水区にある薩埵山で武力衝突を起こし敗れます。観応2年12月のことです。そして翌年1月直義は鎌倉で亡くなります。

なお、山名を本貫地とする新田義重の長子山名義範より七代下った山名時氏は、幕府内で確実に実力を築き当時は足利直義側にいましたが、この時は勢力を持ち始めた山陰地方(出雲)にとどまっていた。

高崎市域では埼玉県北西部からこの地域に勢力を伸ばした武士団の児玉党がありました。『太平記』によれば、児玉党に属して勢力を持った大類弾正・富田らが功名をあげようと単独で足利尊氏方を攻めましたが、今河上総守らに反撃され討ち死にしました。また、当時高崎市域の守護だった上杉憲顕が直義方につき、それに参戦した寺尾次郎業重は敗れて領地を没収されています。

南北朝の内乱は、1392(明德3)年、両朝の合一によってようやく終息します。しかし、こののち関東では新たな対立が始まります。それは、室町将軍家と鎌倉公方足利家との確執で戦国時代まで影響を与えます。

観応の擾乱という合戦は、南北朝時代が中央政治だけのことだと思いがちですが、実は私たちの住む高崎地域でも影響があったということはこの事件は物語っています。

問 1 1

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

【ア】は高崎市の城郭で唯一国指定史跡になっています。

【ア】の本丸には三箇所の虎口（出入り口）があり、そのうちの一つである本丸西虎口の石垣が2023年度に復元されました。この虎口を含めて本丸や御前曲輪といった城主要部で、石垣や門の雨落ち溝に五輪塔や宝篋印塔などの【イ】を大量に使用しているのが【ア】の特徴の一つで、復元によって現地で体感できるようになりました。

ア（１）高崎城 （２）鷹留城 （３）箕輪城 （４）和田城
〔正解 ３〕

イ（１）石臼 （２）石仏 （３）板碑 （４）石塔
〔正解 ４〕

●解説

箕輪城は群馬県の戦国時代を代表する城跡ということで、1987年12月に国史跡に指定されました。1998年度から2006年度まで史

跡の内容確認を目的とした発掘調査が行われ、「大規模な堀」、「良好に残る虎口」が箕輪城の最大の特徴とまとめられました。

2011年度からはそうした特徴を城跡主要部で表現することを主眼とした史跡整備が開始され、2016年には郭馬出西虎口門が復元され、2023年度には本丸西虎口の石垣が復元されました。

問 1 2

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

豊臣秀吉は1590（天正18）年、関東に勢力のあった小田原北条氏を攻め滅ぼしました。井伊直政はその軍功で箕輪【ア】万石を与えられます。当時の検地の形跡を示す「けんちさだめ検地定」として市指定重要文化財【イ】が残っています。直政はその後の1598（慶長3）年、交通の要衝だった和田城を拡張整備し高崎城を築城し初代城主となりました。

やがて1600（慶長5）年、関ヶ原の戦いを経て近江国（滋賀県）の佐和山城さわやまじょうを与えられます。しかし島津勢追討の時の鉄砲傷が悪化し、1602（慶長7）年、42歳で亡くなります。

墓は彦根市【ウ】にあります。墓石は生前に僧籍になったためか無縫塔むほうとう（卵塔らんとう）です。

ア（1）5 （2）7 （3）12 （4）18

〔正解 3〕

イ（1）井伊直政黒印状
（2）井伊直政検地帳
（3）井伊直政石盛帳
（4）井伊直政公覚書

〔正解 1〕

ウ（1）龍門寺りゅうもんじ （2）龍広寺りゅうこうじ （3）清涼寺せいりょうじ

（4）平林寺へいりんじ

〔正解 3〕

●解説

天下統一を図った豊臣秀吉は1590(天正18)年関東に勢力のあった小田原北条氏を攻め滅ぼしました。徳川四天王といわれた井伊直政はその軍功で、当時は秀吉の配下だった徳川家康から、現在の高崎市域にほぼ近い箕輪12万石を与えられます。当時の検地の形跡を示す「検地定」として市指定重要文化財「井伊直政黒印状」が市内に残っています。それによれば、1596(文禄5)年4月18日に中大類村と下大類村の肝煎きもいりと百姓たちにあてた定書で「今回の検地は、12万貫の有無を調べるために行うものであって、諸役や田畑の入り組みなどについては、今まで通りとする」と現状維持を約束しています。直政はその後の1598(慶長3)年、交通の要衝だった和田城を拡張整備した高崎城を築城し初代城主となりました。さらに城下町を整備し、高崎の最初の街づくりに大きな功績を残しました。

やがて1600(慶長5)年、関ヶ原の戦いを経て佐和山城を与えられます。国替えです。しかし、合戦における島津勢追討の時の鉄砲傷が悪化し、1602(慶長7)年、42歳で亡くなります。直政の死後は嫡子なおかつ直勝が翌年彦根城(滋賀県彦根市)を築き、直孝なおたかが二代となります。直政の墓は滋賀県彦根市清涼寺にあります。墓石は生前に僧籍になったためか僧の墓に多いタイプの卵型をした無縫塔(卵塔)です。

問 1 3

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎城主となった【ア】は、城の南に隣接する地に祈願寺として良善寺を建て、境内樹木として【イ】を植えたと伝えられます。代わって城主となった松平輝貞は良善寺の跡に大染寺を建立しましたが、同樹は引続き同寺の境内樹木として保護されます。明治維新で大染寺は他寺に合併廃寺となり、跡地は【ウ】と呼ばれた市民の憩いの場所となりましたが、1900(明治33)年の市制施行を機に高崎公園と改称されます。

- ア (1) あんどうしげのぶ 安藤重信 (2) さかいいえつぐ 酒井家次
(3) すわよりみず 諏訪頼水 (4) まつだいらやすなが 松平康長

〔正解 1〕

- イ (1) カヤ (2) クスノキ
(3) ハクモクレン (4) ラカンマキ

〔正解 3〕

- ウ (1) 城南公園 (2) 常盤公園
(3) 宮元公園 (4) 頼政公園

〔正解 4〕

●解説

1619（元和5）年、下総国小見川（現千葉県小見川町）城主安藤重信が高崎城主になります。入封すると高崎城の南に隣接する場所に祈願寺として良善寺を建立し、境内にハクモクレンを植えたといわれています。安藤氏が転封になり、下野国壬生（現栃木県壬生町）城主松平輝貞が高崎城主になると、良善寺の跡に同じく祈願寺として大染寺を建立しましたが、ハクモクレンは引続き同寺の境内樹木として保護されます。大染寺は大伽藍が軒を連ねた寺院でしたが、廃藩に伴い1874（明治7）年、熊谷の養平寺に合併され廃寺となります。その跡地は頼政公園と呼ばれた市民の憩いの場所となり、1900（明治33）年の高崎市制施行を機に高崎公園と改称されました。このハクモクレンは3月から4月にかけて白い花が壮麗に咲き、多くの人々の目を楽しませてくれます。県の天然記念物に指定されています。

問 1 4

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

中山道は五街道の一つで正徳年間(1711～16年)以前には「中仙道」とも書きました。そののち1716（享保元）年、【ア】の意見を取り入れた幕府が「中山道」に名称を統一しました。

因みに【ア】とともに幕府の中枢にいて、のちに「正徳の治」と呼ばれる一時代をなし、1710（宝永7）年に高崎城主となったのが

【 イ 】です。

中山道は、江戸日本橋を出て、高崎市域では新町・倉賀野・高崎の3宿を通り、近江国（滋賀県）の草津で東海道に合流します。逆に信濃国（長野県）方面から江戸に向かうために倉賀野へ出た場合、倉賀野町下町の常夜灯がある分かれ道で【 ウ 】となります。

中山道の倉賀野宿の次は新町宿ですが、浮世絵で新町宿を描いているのは【 エ 】です。

- ア (1) ^{あらいはくせき}新井白石 (2) ^{たぬまおきつぐ}田沼意次
(3) ^{まつだいらさだのぶ}松平定信 (4) ^{みずのたどくに}水野忠邦

〔正解 1〕

- イ (1) ^{あんどうしげのぶ}安藤重信 (2) ^{あんどうしげひろ}安藤重博
(3) ^{まなべあきふさ}間部詮房 (4) ^{まつだいらてるさだ}松平輝貞

〔正解 3〕

- ウ (1) 右が中山道、左が三国道
(2) 右が中山道、左が日光例幣使道
(3) 右が日光例幣使道、左が中山道
(4) 右が三国道、左が中山道

〔正解 2〕

エ (1)



(2)



(3)



(4)



〔正解 3〕

●解説

中山道？中仙道？漢字でどう書きますか？「中仙道」のほうが趣を感じて良いという人もいます。

中山道は五街道の一つで正徳年間(1711～16)以前には「中仙道」^{なかせんどう}とも書いていましたが、1716(享保元)年、新井白石の意見を取り入れた幕府が「中山道」^{なかせんどう}に名称を統一しました。

因みに白石とともに幕府の中樞にいて、のちに「正徳の治」と呼ばれる一時代をなし、1710(宝永7)年に鯖江(福井県)から移封して高崎城主となったのが間部詮房です。

中山道は、江戸日本橋を出て、高崎市域では新町・倉賀野・高崎の3宿を通り、木曾の山道を抜けて近江国(滋賀県)の草津で東海道を合流します。逆に信濃国(長野県)方面から江戸に向かうために倉賀野へ出た場合には、倉賀野町下町の常夜灯と道しるべがある追分で右へ行くと「江戸道」の中山道、左へ行くと「日光道」つまり日光東照宮へ行く日光例幣使道となります。こちらは毎年4月に京都から奉幣使の行列が徳川家康を祀る東照宮へ御幣を納めに行くのが慣習となっていました。

中山道の倉賀野宿の次は新町宿です。浮世絵「木曾海道六十九次」^{きそかいどう}に描かれている高崎市域の宿^{しゆく}は新町宿・倉賀野宿・高崎宿の三景で、高崎宿の次は板鼻宿です。この時代、歌川広重の「東海道五十三次」とともに浮世絵は当時の「旅ブーム」と相まって人気を博しました。この「六十九次」を描いているのは溪斎英泉^{けいさいえいせん}(1791～1848)で、歌川^{うたがわ}ひろしげ^{ひろしげ}広重(1797～1858)との合作です。

問 1 5

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎城下を貫く中山道の伝馬宿は本町に置かれました。その後、往来する人々や輸送荷物が増加したため、田町・新町(現あら町)にも置かれ三町体制になります。伝馬宿の【ア】は人馬の手配をはじめ負担が多いため、援助としてこの三町の【イ】は免除され、伝馬町の経済を支援すると共に町の繁栄を願って【ウ】が設定され

ました。他にも、田町には絹の売買の独占、連雀町には【 エ 】を取扱う特権がそれぞれ与えられ、この結果、高崎城下には内外から多くの売手買手が集まり商業の町として大いに栄えることになります。

- ア (1) 荷受け所 (2) 監察処 (3) 問屋場 (4) 馬喰場^{ばくろう}
〔正解 3〕
- イ (1) 加助郷^{かすけごう} (2) 課役 (3) 建屋規制 (4) 地子^{じし}
〔正解 4〕
- ウ (1) 株仲間 (2) 献上組合 (3) 出稼鑑札 (4) 六斎市
〔正解 4〕
- エ (1) 下仁田紙 (2) 館煙草 (3) 薬種 (4) 花蠟燭^{はなろうそく}
〔正解 1〕

●解説

高崎城下の中山道に伝馬宿が1601（慶長6）年頃に創設され、問屋場は本町に置かれました。伝馬宿の機能は運輸・通信・休泊などを担当していましたが、交通の要衝である高崎では年々往来する人々並びに輸送荷物が増加したため、1632（寛永9）年から本町のほか田町・新町（現あら町）にも問屋場が設けられます。問屋場は宿場のなかで公用の旅人や荷物の往来に関するすべての事務を行った場所で、人足と荷馬を常備するなど負担が多いため、伝馬の町は地子が免除され、また、伝馬宿の商業を盛んにして経済的に支援するため、この三町に「市」日が設定されました。世にいう高崎の六斎市です。加えて、田町には絹の売買を独占する特権も与えられ一段と繁栄します。この他に、大手門通りに面した連雀町は、井伊直政の時代から清潔な商品を売買せよという指示もあり、下仁田紙の専売権が与えられています。このような施策もあり、高崎は城下町ですが伝馬宿として流通の拠点となり、商業の町としても大いに栄えました。

問 1 6

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

三ツ寺堤（三ツ寺町）西の三ツ寺公園駐車場の一角に巨大な石碑があります。

石碑の正面には「青面王」という文字と、その周辺に【 ア 】にわたって刻まれています。

このような石碑を【 イ 】といいます。

- ア（１）「二十二夜様」という文字が22か所
（２）「三界万霊」という文字が33か所
（３）「六十六部」という文字が66か所
（４）「庚申」という文字が99か所

〔正解 ４〕

- イ（１）二十二夜様
（２）三界万霊塔
（３）六十六部供養塔
（４）一石百庚申

〔正解 ４〕



●解説

道教の神仙思想が元とされる庚申信仰は、中国大陸より日本列島に伝えられ、平安時代には宮中や貴族の間に広まったとされています。「守庚申」「庚申待」といった信仰行事のほか、室町時代以降には板碑に庚申信仰が表されはじめ、江戸時代になると庶民のあいだに「庚申塔」の建立が流行します。

江戸時代以降の庚申塔には様々な形態がありますが、本市においてはおよそ年代順に①石宮、②板碑、③舟形、④角柱塔、⑤自然石調整、⑥板状といったものが造られました。加えて、三猿^{さんざる}、青面金剛^{しょうめんこんごう}、日・月などのかたちを彫り出すことで庚申信仰を具象化したものや、「庚申（供養）塔」「青面金剛」「猿田彦（大神・命）」などを刻んだ文字塔もあります。

また、庚申塔の中には特定の場所に継続的に塔を建てる「庚申塚」や、同時期に多数の塔を建てる「百庚申」があり、いずれも造立者（個

人・集団)の信仰の強さを表しています。

三ツ寺町の庚申塔は、正面に「青面王」と大書し、周囲に「庚申」の文字を様々な書体で99か所刻むという珍しいものです。三ツ寺村で建てたもので、ほか碑面に「米山高柳」とあることから、市河米庵の門下で書家の高柳米山の書によるものであることがわかります(1855年建立)。

そのほか同所には、同村で建てた「寛政十二年庚申」(1800年)の銘がある庚申塔(書家・椿山文明による)や、「庚申」と刻まれた「万延元年」(1860年)銘のものがあります。2基とも庚申(かのえさる)の年に建てられています。

問 1 7

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

倉渕地域には、多数の道祖神塔が残されていることは知られています。道祖神塔は、旅人の安全祈願のほか、村内に疫病や災厄が入らないようにする魔除けの意味から、多くが村境や辻などに建てられました。

下諏訪神社(倉渕町川浦)にある道祖神塔は、いわゆる【ア】で、本市の重要有形民俗文化財に指定されています。「天明八戊申年」「十月吉日」(1788年)の銘があり、正面に【イ】が彫られた優美な姿をしています。

- ア (1) 文字塔
(2) 石宮
(3) 道しるべを兼ねた石塔
(4) 双体道祖神

〔正解 4〕

- イ (1) 三猿 (2) 女神・男神
(3) 日神・月神 (4) 竜神・雷神

〔正解 2〕

●解説

サイノカミ（サエノカミ・サカエノカミ）などと呼称し、「塞神・衢神・岐神」と記すこともある道祖神は、『古事記』『日本書紀』にも登場するなど、古くから信仰の対象とされてきました。

もともと道祖神は、外から侵入する悪霊を防ぐ神とされ、江戸時代には道祖神の石塔が峠・辻・村境などに建てられました。特に疫病から村を守る神として、群馬県内でも多数の道祖神塔が建てられましたが、道の神、行路の安全を守る神のほか、後には縁結びや夫婦和合の意味も加えられました。

本市における道祖神塔は、像塔と文字塔の大きく二つに分けられます。前者は双体道祖神に代表されるもので、後者は「道祖神」「道どう陸神」「大八衢神」などの文字が刻まれたものです。

倉渕町川浦の下諏訪神社にある双体道祖神は、「天明八戊申年」「十月吉日」（1788年）の銘があり、男神・女神が並んで酒器を持つ、いわゆる「酒器持型」に分類することができます。高さは約75センチメートルで、像形が明瞭で保存状態も良く、市指定重要有形民俗文化財となっています。

問 18

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

江戸時代は、石高制という米の生産を基本とした社会でした。そのため、幕府や旗本、諸藩は、村の支配と農業政策を重視しました。そこで、役人や学者が中心となって、いわゆる「地方（じかた）」「村方」を治める手引書をつくりました。

【ア】においても、その郡奉行を勤めた【イ】は、『地方はなれいろく凡例録』を著しました。同書は、数多い江戸時代の村支配の手引書の中でも、全国の事例を集めて示している点が優れているとされています。

ア (1) 岩鼻代官所 (2) 高崎藩 (3) 江戸幕府 (4) 前橋藩
〔正解 2〕

イ (1) ^{やまもとだいぜん}山本大膳 (2) ^{おおいしひさたか}大石久敬
(3) ^{おおおかただすけ}大岡忠相 (4) ^{やすおかれいなん}保岡嶺南

〔正解 2〕

●解説

大石久敬(1725～94)は、江戸時代中期の農政学者で、『地方凡例録』の著者として知られています。彼の出生などははっきりしない部分も多いですが、大石慎三郎解題『地方凡例録』には、次のように紹介されています。

九州久留米の古賀家に生まれた久敬は、通称は猪十郎で、1741(寛保元)年に城島村(現福岡県久留米市城島町)の大庄屋・大石家の婿養子となりました(17歳)。1754(宝暦4)年、久留米藩の大一揆が起こると久敬は出奔し、九州各地を転々として、大坂を経て京都に着くと様々な公卿に仕えました。

その後、久敬は近江・信濃・甲斐などを流浪して江戸に至り、旗本の手代などをしていたところ、農政に詳しい者を探していた高崎藩主松平(大河内)輝高^{てるたか}(1725～81)の知るところとなりました。

1783(天明3)年、同藩に召し抱えられた久敬はやがて郡奉行となります。1791(寛政3)年、同藩主輝和^{てるやす}(1750～1800)のときに、久敬は地方支配について書物にまとめるように命じられます。業務のかたわら、著述に傾注した久敬でしたが、全16巻(予定)のうち11巻まで仕上げてこの世を去りました(享年70)。

未完に終わった『地方凡例録』でしたが、当時の農村制度を整理・体系化し、奉行や代官のみならず村役人にとっても地方書の規範とされました。また明治維新後の地租改正や地方制度の整備にも活用されました。

なお、山本大膳は岩鼻陣屋の代官、大岡忠相はおもに町奉行を勤めた幕臣、保岡嶺南は川越(前橋)藩の学者です。

問 19

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

江戸時代の中期に漢文がブームとなり、漢詩人が多く輩出し、その代表に高崎藩の重役の子として生まれた【ア】がいます。甘楽郡磐戸村（現南牧村）出身で江戸随一の儒者【イ】に漢詩を学び、書は沢田東江に師事し、その書論は観音山清水寺に建つ「学書篇」碑に見られます。藩士としては高崎藩の銚子領に漂着した清国商船の取調べにあたり、その縁からか銚子領の【ウ】田中玄蕃が彼の書を珍重したといわれます。また、榛名湖畔天神峠に建つ【エ】寄進の大灯籠の文も彼の書です。

- ア (1) 北爪九蔵きたづめくぞう (2) 菅谷帰雲すがやきうん
 (3) 深井寛八ふかいかんはち (4) 宮部 襄みやべのぼる

〔正解 2〕

- イ (1) 市河寛斎いちかわかんさい (2) 荻生徂徠おぎゅうそらい
 (3) 林羅山はやしらざん (4) 細井平洲ほそいへいしゅう

〔正解 1〕

- ウ (1) 網元 (2) 廻船問屋 (3) 醤油醸造業 (4) 干鰯問屋ほしか
 〔正解 3〕

- エ (1) 桜井伊兵衛さくらい いへえ (2) 塩原太助しおばら たすけ
 (3) 下村善太郎しもむらぜんたろう (4) 茂木惣兵衛もぎそうべえ

〔正解 2〕

●解説

江戸時代中期になると漢学が興隆し、好学の家風の高さで知られた大河内松平家の藩士の中にも多くの漢詩人が輩出しています。その代表的な人物の菅谷帰雲は、高崎藩番頭菅谷清乗の長子に生まれ、書は沢田東江（東江流を立てた書道家、漢学者、儒学者）に学び、その書論は観音山清水寺境内に建立された「学書篇」碑にみられます。詩は市河寛斎（現甘楽郡南牧村出身、子に幕末の三筆と称される市河米庵がいる）の江湖詩社に学び、多くの門弟に影響を与え頌徳碑が赤坂町の長松寺墓地に建てられています。

1807（文化4）年、清国商船が高崎藩の飛地領である銚子に漂流した際に、藩の軍学者市川一学らと調査に訪れた縁からか、同地の豪商ヒゲタ醤油当主田中玄蕃が帰雲の書を珍重したことが『玄蕃日記』に記されています。また、榛名湖を望む天神峠に建つ塩原太助が寄進した大きな石燈籠の文字は帰雲の手によるものです。

問 20

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎藩主大河内松平氏の時代、同藩から学芸に秀でた人物が多数輩出し、歌人では第一に【ア】の名前があがります。彼は歌道宗匠家冷泉為村の高弟にして、幕臣や大名を中心とした堂上派歌壇の中核でありました。後年は高崎藩年寄を辞して【イ】となっています。また、妻の【ウ】も和歌を学ぶ一方、『源氏物語』に造詣が深く「葵の巻」の浄書を冷泉為村から依頼されるほどでした。同本にヒントを得て長編物語『【エ】』を著し、当時としては珍しい女流作家としても文名を高めた人物です。

- | | |
|----------------------------------|----------------------------------|
| ア（１） <small>あざいたもん</small> 浅井多門 | （２） <small>いいづかひさとし</small> 飯塚久敏 |
| （３） <small>とみおかまさよし</small> 富岡正美 | （４） <small>みやべよしまさ</small> 宮部義正 |

〔正解 ４〕

- イ（１）歌道御用掛
（２）将軍家歌道師範
（３）堂上派江戸宗匠
（４）冷泉流師範

〔正解 ２〕

- ウ（１）紅 （２）香 （３）久 （４）万

〔正解 ４〕

- エ（１）木草物語 （２）四季物語
（３）詞華物語 （４）大和物語

〔正解 １〕

●解説

近世高崎を代表する歌人宮部義正は、高崎藩大河内松平家の番頭宮部義殷の長子に生まれました。祖父義尚が家老を務めた家柄で、義正自身も番頭から年寄を務めています。当時、歌道宗匠をもって聞こえた冷泉為村に学び、為村門下の最も有力な存在と言われました。藩主の松平輝高も和歌をよくし、かつ老中首座でもあったこともあり、主従揃って大名や旗本を中心とした堂上派歌壇の中心人物でした。後年、高崎藩を致仕し幕府の和学所に仕え将軍家歌道師範になります。

妻の万も為村に詠草して指導を受け、『万女詠草』を為村へ献上しています。為村の子息為泰が高崎を経過した際に面会し、その折に源氏物語について教示を受けます。また、冷泉家から源氏物語「葵の巻」の浄書を命ぜられたことを機に源氏物語を更に精読研究したことが、春夏秋冬の四巻からなる『本草物語』の執筆につながったと思われます。江戸時代の高崎を代表する女流文人の一人です。

問 2 1

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

縁起だるま発祥の寺と称される少林山達磨寺は1697(元禄10)年、前橋城の【ア】を護る祈願寺として、徳川光圀が帰依した心越しんえつ禅師を開山に仰ぎ、前橋藩主酒井忠挙さかいただかにより開創されました。「観音菩薩」、「達磨大師」と【イ】を神格化した北辰鎮宅靈符尊の三体を本尊として、多くの人々の信仰を集めてきました。

開創当初は曹洞宗でしたが、明治になって【ウ】に改宗しています。

寺の裏山は【エ】地帯で昔から碓氷川を挟んだ藤塚町を中心に多くの被害を及ぼしてきました。1960年から様々な対策がとられてきましたが、最終的に裏山の斜面の土を取り除く大規模な工事が行われ、安全が担保されるようになりました。

ア (1) 表鬼門 (2) 裏鬼門 (3) 表木戸 (4) 大手口
〔正解 2〕

イ (1) 北極星と北斗七星
(2) 彦星と天の川
(3) オリオン座の三つ星
(4) 南十字星と天の川

ウ (1) しんごんしゅう真言宗 (2) じしゅう時宗 (3) てんだいしゅう天台宗 (4) おうばくしゅう黄檗宗
〔正解 1〕
〔正解 4〕

エ (1) 断層 (2) 地すべり (3) 地割れ (4) 陥没
〔正解 2〕

●解説

少林山達磨寺のある旧八幡村は江戸時代の初め、前橋藩の藩領でした。初代藩主であった酒井重忠が領内の巡見をした際、この地が裏鬼門にあたることから、ここに裏鬼門除けの祈願寺の建立を計画したことに始まります。時を経た、1697（元禄10）年、酒井忠挙により徳川光圀が帰依した心越禅師を開山に仰ぎ、心越禅師の法嗣であった天湫和尚を迎え、曹洞宗の寺として開創されました。また、1726（享保11）年、水戸徳川家から「三葉葵の御紋」と「丸に水の紋章」を拝領し、水戸家永世の祈願所となりました。大講堂の大屋根に葵の御紋と丸に水の紋章をあしらった意匠を見ることができます。

本尊である北辰鎮宅霊符尊は北極星と北斗七星を神格化したもので、吉凶禍福、家相、方位を司ると言われ、善星を招き、悪星を除く霊神として、厚い信仰を承けてきました。

寺の裏山は地すべり地帯で昔から碓氷川を挟んだ藤塚町を中心に多くの被害を及ぼしてきました。1960年から1999年にわたり、様々な地すべりの対策工事がとられてきましたが、最終的に裏山の斜面の土を取り除くことで、地すべりの難から解放されることになりました。土が取り除かれた裏山は見晴らしの良い公園に生まれ変わり、高崎の町並みを眼下に納め、遠く北に連なる上州の山並みを展望することができます。

問 2 2

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

人々にとって、出産、子育ては神聖なものであり、安産や子どもの健やかな成長を願って様々な儀礼が行われてきました。妊娠が分かると、赤子が無事生まれるようにと安産祈願をしました。旧市では産^{さん}泰様^{たいさま}とも言われる【ア】や南大類町の柳原馬頭観音などがお産に御利益があるとされ、多くの人がお参りをします。

生まれてしばらくすると氏神様や近くの神社をお参りし、生まれて百日目には【イ】と言って、一生食べ物に困らないようにとの願いを込めて、子どものために茶碗や箸を揃え、丸いきれいな石を拾ってきて、お膳にのせ、食べさせるまねをしました。

張子の獅子頭で知られる【ウ】は子育ての神様として知られ、春と秋の祭礼には多くの人子どもを連れてお参りをし、子どもの健康や健やかな成長を祈願しています。

ア (1) 高崎神社 (2) 若宮神社 (3) 小祝神社 (4) 頼政神社

〔正解 3〕

イ (1) お食い初め (2) 初節句 (3) 石御膳 (4) 百日飯

〔正解 1〕

ウ (1) 白鬚神社 (2) 秋葉大権現

(3) 諏訪神社 (4) 山名八幡宮

〔正解 4〕

●解説

妊娠が分かると安産祈願のため、神社を参拝する習わしがありますが、高崎地域では地元の神社のほかに、「産泰様」とも呼ばれる小祝神社（石原町）を詣でたりしました。戌の日には腹帯にするさらしを求める妊婦の方や安産の願いが書かれた絵馬を見ることができます。

無事に出産が済むと白いご飯を炊いて、お祝いに集まった人々に振る舞いました。生まれて七日目を「お七夜」と言い、かつては赤飯を炊いて祝いました。

生後百日目には「お食い初め」と言って、赤子用の茶碗や箸を揃え、丸いきれいな石を拾ってきて、お膳にのせ、食べさせる真似をします。

これまでの成長を感謝するとともに、一生食べ物に困らないようにとの願いが込められていました。

山名八幡宮は子育てにご利益があるとされ、4月と10月の祭礼には近郷近在から多くの人が子どもを連れて参拝しました。

問 2 3

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

多胡石は個性的な【ア】を持つ石材としてよく知られています。大正時代に吉井町南部の朝日岳山麓にあった多胡村で、東京の鍋島商店が採石して首都圏のビル建材として販売しました。

1923（大正12）年9月1日の【イ】発生時には多くのビルが被災しましたが、この石材を使用したビルの被熱部分は一段と美しく変色したことからその後の需要が急増しました。

この石材は、多胡碑や中世の石造物にも使用されています。

ア（１）形 （２）結晶 （３）光 （４）模様

〔正解 ４〕

イ（１）神田の火災 （２）関東大震災
（３）白木屋の火災 （４）西埼玉地震

〔正解 ２〕

●解説

多胡石は、板状にきると断面に赤褐色や黄褐色で描いた風景画を連想させる個性的な模様を持つ石材です。

大正時代には、模様に目をつけた東京の鍋島商店が吉井町南部の多胡村朝日岳山麓からこの石材を採石し、ビルの壁面材「多胡石」として販売したことにより首都圏を中心に広まりました。

1923（大正12）年9月1日の関東大震災発生時には、東京の多くのビルが被災し、被熱した壁面石材は破損しましたが、この石材はむしろ一段と美しく変色したことから、石材界で珍重され需要が急増しました。

同質の石材としては、地元では古代の多胡碑や中世の石造物があります。吉井町玄太寺にある鎌倉時代の石造阿弥陀三尊はこの模様を利用しつくられています。昭和時代には東宮御所車寄せ壁面にも使用された銘石です。

問 2 4

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

美人画で一世を風靡^{ふうび}し、「大正ロマン」を代表する画家として人気を博した竹久夢二は伊香保に住む少女からのファンレターの縁で、伊香保の地を度々訪れています。1930（昭和5）年、伊香保温泉に約1か月滞在した際には【ア】にアトリエを設け、『榛名山賦』を制作しました。

今年は夢二生誕から【イ】にあたります。

- ア（１）榛名湖畔（２）河鹿橋^{かじかばし}近く
（３）ハワイ王国公使別邸内（４）石段街沿い

〔正解 １〕

- イ（１）70年（２）100年（３）140年（４）180年

〔正解 ３〕

●解説

叙情豊かな美人画で一世を風靡し、「大正ロマン」を代表する画家として人気を博した竹久夢二ですが、児童雑誌などの挿絵を描いたり、詩、歌謡、童話を創作するなど、多方面にわたりその才能を発揮しました。また、書籍の装幀や広告、日用雑貨のデザインを手がけ、グラフィックデザインの先駆けとなりました。

伊香保に住む少女からのファンレターの縁で、伊香保の地を度々訪れています。1930（昭和5）年、伊香保温泉に約1か月滞在した際には榛名湖畔にアトリエを設け、『榛名山賦』を制作しました。榛名湖西岸の高台にはこの時に建てられたアトリエが復元されています。

2024年は夢二生誕140年、没後90年にあたります。

問 2 5

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎に工業学校を建設しようとする動きは古くは明治30年代に遡りますが、これが具体化するのには昭和になってからのことになります。1938（昭和13）年、県会で群馬県立高崎工業学校の設立が決議され、現在地の高崎市【ア】に建設することが決定しました。

設置学科は機械科・【イ】・応用化学科の3科で、1940（昭和15）年に開校の日を迎えました。

ア（1）飯塚町 （2）江木町 （3）貝沢町 （4）浜尻町
〔正解 2〕

イ（1）電気科 （2）建築科 （3）デザイン科 （4）繊維科
〔正解 1〕

●解説

高崎における工業高校の設置要望は1900（明治33）年、県会で高崎商工学校の建設が承認されたことにより、公的なものとなりました。しかし、その名称が示すとおり、商業学校との抱き合わせによるものであり、工業学校の設立が具現化に向けて動き出すのは、それから40年近くを経た1938（昭和13）年になってのことでした。

1938（昭和13）年、時の土屋正三知事は県会において、「時局の要請により高崎市において定員600名で機械、応用化学、電気科の県立工業高校新設」の提案説明を行い、これにより高崎における工業高校建設が一気に進むことになりました。

場所は江木町金井塚に決まり、1939（昭和14）年から建設が始まりました。1940（昭和15）年4月、機械科・電気科・応用化学科の3科に、144名（155名とも）の新入生を迎え、ここに群馬県立高崎工業学校がスタートしました。また、1941（昭和16）年3月には地元工業界の要望により、定時制の前身である夜間部が設置されました。

問 2 6

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎線の本庄～【ア】間は、高崎駅開業式の6か月ほど前、1883（明治16）年12月27日に開通しました。このとき、群馬県内で初めての蒸気機関車を一目見ようと、【ア】駅に2万人の群衆が押し寄せたといえます。

また【ア】には、これに先立つこと6年前の1877（明治10）年10月に、【イ】が設置されました。多くの貨物が高崎線を利用して【ア】駅から輸送され、群馬県の発展に寄与することとなりました。

ア（１）富岡 （２）深谷 （３）新町 （４）倉賀野
〔正解 ３〕

イ（１）富岡製糸場 （２）深谷煉瓦製造施設
（３）新町屑糸紡績所 （４）岩鼻火薬製造所
〔正解 ３〕

●解説

明治維新後、政府はこれまでの舟や馬による輸送を効率化するため、鉄道敷設を開始しますが、その設置費用には膨大な予算が必要でした。しかし、欧米を視察した政府要人を中心にして、1872（明治5）年には、わが国最初の鉄道が新橋・横浜間を走りました。

また、政府は国内の生糸を輸出するため、内陸の北関東や中部地方にも鉄道敷設を計画しますが、財政状況が厳しく実施には困難がともないました。そこで、政府に代わり民間資本による「日本鉄道会社」が、1883（明治16）年7月に上野・熊谷間に鉄道を開通させます。さらに同年12月27日には本庄・新町間が開通し、群馬県に初めて蒸気機関車が姿を見せることとなりました。開通に際し、地元では山車や屋台、獅子舞が出て、花火も打ち上げられたといえます。その後、新町駅前から藤岡まで緑野鉄道馬車が走りました。

ところで、1877（明治10）年に設置された新町屑糸紡績所は、これまで廃棄されていた屑糸・屑繭くずまゆを利用するためのものでした。新町に鉄道が開通したことで、養蚕地域から大量の原料が入ることとな

り、紡績所の生産量も増大しました。

なお、上野・高崎間が開通したのは1884（明治17）年5月1日で、明治天皇を迎えた開通式は同年6月25日に行われています（群馬事件の影響による治安の問題で遅れました）。

問 2 7

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

上毛かるたに「関東と信越つなぐ高崎市」と読まれる本市ですが、それまでの鉄道や国道に加えて、近年は新幹線や高速道路が走るなど、交通の要衝としてその重要性を増してきています。

交通の要衝としての歴史は古く、近世以降、五街道の一つである中山道を初めとして、脇往還として高崎と寺泊（長岡）を結ぶ【ア】や本庄から吉井を経て信州に至る【イ】が整備されるなど、江戸と信州、越後を結ぶ結節点としての役割を果たしてきました。

明治になると、近代化の象徴である鉄道の敷設が計画され、1884（明治17）年、【ウ】によって、高崎線が開通し、利便性が飛躍的に向上しました。

- ア（１）御幸街道 （２）例幣使道
 （３）三国街道 （４）実政街道

〔正解 ３〕

- イ（１）下仁田道 （２）日光街道
 （３）奥州街道 （４）銅街道あかがね

〔正解 １〕

- ウ（１）高崎鉄道開発会社
 （２）日本鉄道株式会社
 （３）上武鉄道株式会社
 （４）上野鉄道株式会社

〔正解 ２〕

●解説

高崎の交通の要衝としての歴史は古く、近世以降、五街道の一つである中山道を始めとして、高崎宿を起点とし、長岡に至る三国街道や本庄から吉井を経て信州に至る下仁田街道が整備されるなど、江戸と信州、越後を結ぶ結節点としての役割を果たしてきました。また、朝廷からの勅使が日光東照宮に幣帛^{へいはく}を奉献するために、倉賀野宿を起点とする日光例幣使道が開削されました。

当初、高崎線は高崎が生糸の集散地であることから、これを迅速に運搬することを目的として、明治政府によって計画されましたが、西南戦争によって財政が逼迫していたことから実行に移されることはありませんでした。政府に代わり、華族を中心とした会社組織の日本鉄道株式会社が組織され、我が国初の民営鉄道として建設が進められ、1883（明治16）年、上野・熊谷間が開業し、翌明治17年に高崎、前橋まで延長されました。開業当時の列車は1日3往復、上野までわずか4時間で行けるようになりました。さらに、1885（明治18）年には新橋・横浜間の鉄道と連結し、生糸が積みかえなしで直接横浜に運ばれるようになり、海外への輸出拡大に大きく貢献しました。

問 2 8

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

江戸時代、高崎城の【ア】前は枳形になっていて町奉行所と奉行役宅がありました。ここを東に進み中山道を横切ると、かつては安国寺に突き当たりました。

第二次世界大戦後には、町奉行所であった跡地は、北側は前橋地方裁判所高崎支部、南側は【イ】になりました。

やがて高崎市の都市開発に伴い安国寺は南側に移り、その跡に造られた通りは【ウ】と呼ばれるようになります。

1964年10月、連雀町交差点の北東に地上5階地下1階屋上展望台付の【エ】デパートが開店し、一大商業拠点となりました。

ア (1) 追手門 (2) 槻木門 (3) 東門 (4) 子ノ門^ね
〔正解 1〕

イ (1) 高崎警察署
(2) 高崎市役所
(3) 前橋地方検察庁高崎支部
(4) 労働基準監督署
〔正解 3〕

ウ (1) 駅北通り (2) 慈光通り
(3) 東三条通り (4) レンガ通り
〔正解 2〕

エ (1) 十字屋 (2) ダイエー (3) 藤五 (4) 丸専
〔正解 3〕

●解説

1968年に開店したスズランデパートは、今までの場所から移転改修しています。江戸時代この付近は、高崎城追手門の前で急に攻め入ることを防ぐ工夫をした「櫓形」です。ちょうど北に隣接したところに町奉行所がありました。因みに寛政年間の町奉行だった柳下^{やぎした}歳右衛門^{さいう えもん}の「町奉行日記」は、1792（寛政4）年と1797（寛政9）年が残っています。当時町奉行は2名の交替制で下河辺三郎右衛門^{しもこうべさぶろう えもん}と二人で勤務していたようです。日記によれば城下の商業や世相等が克明に記録されています。

県内の本格的なデパートの開店は、1964年10月のことです。高崎では地上5階地下1階屋上展望台付きの藤五デパートがはじめて、このころ高崎市内外から買い物客が訪れ大変賑わいました。ちょうど前橋の前三百貨店開店の一か月後のことです。1976年に発売されたイラストマップ「高崎市街ガイド」（新編高崎市史資料編12近代現代Ⅳ・付録図）によればスズランから大手前通り・慈光通りを東に、スカイビル、アサヒ商会、新星堂などの懐かしい店の記載が見えます。

問 29

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

1945年11月、音楽による戦後復興をめざし、「高崎市民オーケストラ」が発足し、翌年に「群馬フィルハーモニーオーケストラ」、1963年に「財団法人群馬交響楽団」となりました。

群馬交響楽団は、当初から国内外で活躍する指揮者が常任指揮者等に就いており、1946年に行われた第1回定期演奏の指揮は、初代常任指揮者の山本直忠が務めました。2023年からは【ア】が務め、今年7月の【イ】記念定期演奏会を指揮しました。

「県内の子どもたちに音楽を届けたい」と1947年から【ウ】が始まり、現在は年間に約80回行われ、これまでに延べ650万人が鑑賞しています。

世界の小澤と呼ばれ、2024年2月に亡くなった小澤征爾は、学生時代に【ウ】の指揮をしていました。プロのオーケストラを指揮するのは初めてだったということです。

- ア (1) はらだけいたろう 原田慶太楼 (2) こばやしけんいちろう 小林研一郎
(3) おおともなおと 大友直人 (4) いいもりのりちか 飯森範親

〔正解 4〕

- イ (1) 文部大臣「地域文化功労者」表彰
(2) 第600回
(3) 県民芸術祭40周年
(4) サントリー地域文化賞受賞

〔正解 2〕

- ウ (1) 移動音楽教室
(2) みんなで歌おうコンサート
(3) 第九演奏会
(4) 森とオーケストラ

〔正解 1〕

●解説

1945年11月、戦後の荒廃の中で文化を通した復興を目指して「高崎市民オーケストラ」が創設されました。1946年に「群馬フィルハーモニーオーケストラ」、1963年に「財団法人群馬交響楽団」、2013年に「公益財団法人群馬交響楽団」と改称しました。

創立の翌年1946年に第1回定期演奏会が高崎市立高等女学校講堂で行われ、2024年7月に高崎芸術劇場で第600回定期演奏会が行われました。

1947年5月から始められた移動音楽教室は、小澤征爾が学生時代に指揮をしたこともあり、2022年度までに延べ646万人を超える児童・生徒が鑑賞しています。

常任指揮者（または音楽監督など呼び方は異なりますが）は初代を山本直忠（山本直純の父）が務め、高関健、大友直人、小林研一郎など世界的な指揮者が歴代に名を連ねています。2023年度から飯森範親が就任しており、2025年には創立80周年事業が行われる予定です。

問30

次の文章のうち、【ア】～【エ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

群馬音楽センターの設計は、本市の実業家井上房一郎と戦前から親交のあったチェコ出身の【ア】によるものです。彼は【イ】の設計で有名な建築家フランク・ロイド・ライトに師事し、この助手としてライトと共に来日しました。

また、ナチスドイツから亡命していた【ウ】は、井上に招かれて高崎に移住し工芸作品の指導にあたりました。彼も本来はモダニズム建築の巨匠の一人です。

【ウ】は【エ】を激賞したことにより【エ】ブームが起きたことでも知られています。

- ア (1) アントニン・レーモンド
(2) ル・コルビュジエ
(3) ヨーン・ウツソン
(4) アントニ・ガウディ

〔正解 1〕

- イ (1) 大阪中央郵便局 (2) 国立西洋美術館
(3) 旧帝国ホテル (4) 東京駅駅舎

〔正解 3〕

- ウ (1) ドナルド・キーン
(2) ブルーノ・タウト
(3) アーネスト・フェノロサ
(4) ラフカディオ・ハーン

〔正解 2〕

- エ (1) 伊勢神宮 (2) 桂離宮
(3) 日光東照宮 (4) 薬師寺東塔

〔正解 2〕

●解説

群馬音楽センターの設計は、本市の実業家井上房一郎(1898～1993)と戦前から親交のあったチェコ出身のアントニン・レーモンド(1888～1976)によるものです。レーモンドはモダニズム建築の作品を多く残し、日本の建築家に大きな影響を与えました。しかし、第二次世界大戦中は焼夷弾の効果を高めるために米国ユタ州の砂漠に東京下町の日本家屋の街並みを再現し、延焼効果を検証したことが自伝に書かれています。そこには戦前に見てきた日本への愛情と、この戦争を早く終わらせたいという苦渋の選択が感じ取れるといえます。

アントニン・レーモンドは、旧帝国ホテル(ライト館)や米国ピッツバーグ郊外の落水荘らくすいそう フォーリングウォーター(Fallingwater)の設計で有名な建築家フランク・ロイド・ライト(1867～1959)に師事し、1919(大正8)年の帝国ホテル建設に関わって一緒に来日し仕事をしました。ともに桂離宮などの日本文化の影響を受けたともいわれているモダニズム建築の巨匠たちです。

現在市内に残る井上邸は、1952年、東京港区麻布こうがいちょう筈町のアン

トニン・レーモンド邸を模した貴重なモダニズム建築としても知られています。

また、井上房一郎は戦前、ナチス党のヒトラーに支配されたベルリンを脱出して来日したブルーノ・タウト(1880～1938)を招いた工芸運動にも関わっています。ブルーノ・タウトも本来はモダニズム建築家です。京都の桂離宮を「泣きたくなるほど美しい」と言ったことでも有名です。

このようにモダニズム建築の系譜が私たちの住む高崎にあることは大いに自慢したいことのひとつだといえるでしょう。そして、それとともに戦後の平和への願いも感じ取ることができます。

問 3 1 次の文章のうち、【 】に適するものは、下の選択肢のどれでしょうか。

全国約1300か所に気象庁のアメダス（地域気象観測システム）地域観測所が設置されています。

高崎市内には【 】に観測所が設置され、降水量、気温、風向、風速を観測しています。

降水量のみを観測する雨量観測所として榛名山観測所が高崎市榛名湖町に設置されています。

（アメダス Automated Meteorological Data Acquisition System の略）

- （１）高松町 （２）上里見町 （３）井出町 （４）新町
〔正解 ２〕

●解説

アメダス（AMeDAS）とは「Automated Meteorological Data Acquisition System」の略で、「地域気象観測システム」といい1974年11月に運用が開始されました。

現在、降水量を観測する観測所は全国に約1,300か所（約17キロメートル間隔）あり、高崎市内での観測所は上里見観測所（上里見町）が1977年12月に観測開始となりました。また、雨量を観測する榛名

山観測所が榛名湖町に設置されています。

なお、高崎市内では、中央消防署（八千代町）でも気象情報が毎日観測・記録されています。

問 3 2

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎市は2016年12月22日に【ア】駅南に隣接するニッポン冷食高崎工場跡地に新たな体育館高崎アリーナを建設しました。競技面はメインアリーナ・サブアリーナ・多目的室・柔剣道場・ウェイトリフティング場があります。メインアリーナは席数最大約【イ】席と卓球なら25面、バスケットボールなら4面の広さを持つ競技面とからなります。

国内トップレベルの選手が集まる選手権など、さまざまなスポーツイベントが開催されています。

ア（１）北高崎 （２）高崎問屋町 （３）高崎 （４）倉賀野
〔正解 ３〕

イ（１）１千 （２）３千 （３）６千 （４）１万
〔正解 ３〕

●解説

高崎市は、2016年12月22日に高崎駅南に隣接するニッポン冷食高崎工場跡地に新たな体育館高崎アリーナを建設しました。競技面はメインアリーナ・サブアリーナ・多目的室・柔剣道場・ウェイトリフティング場があります。メインアリーナは座席数最大約6千席と卓球なら25面、バスケットボールなら4面の広さを持つ競技面とからなります。

国内トップレベルの選手が集まる第63回 NHK 杯選手権(体操競技)など、さまざまなスポーツイベントが開催されています。

問 3 3

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

第3次警察署再編整備計画により、2022年4月、県内最大規模であった高崎警察署を分割する形で、箕郷町上芝の【ア】沿いに、鉄筋コンクリート造4階建ての庁舎棟と鉄骨造2階建ての附属棟からなる【イ】が開設されました。警察署の新設は前橋警察署から前橋東警察署が分割新設されて以来、実に41年ぶりのことになります。

- ア（１）国道17号線
- （２）西毛広域幹線道路
- （３）県道高崎渋川線バイパス
- （４）県道前橋安中線

〔正解 2〕

- イ（１）高崎西警察署
- （２）箕郷警察署
- （３）高崎北警察署
- （４）長野郷警察署

〔正解 3〕

●解説

高崎北警察署は第3次警察署再編整備計画により、2022年4月、箕郷町上芝の現在整備が進められている西毛広域幹線道路沿いに開設されました。市町村合併により、新町、吉井町が藤岡警察署から高崎警察署の管轄になったことから、高崎警察署の管轄地域の分割が計画され、新たな警察署の設置が決まりました。

高崎北警察署は鉄筋コンクリート造4階建ての庁舎棟と鉄骨造2階建ての附属棟からなり、高崎市の北部にあたる八幡、長野、群馬、榛名、箕郷、倉渕の各地区を管轄しています。管内には、群馬、榛名の二つの交番と剣崎、北新波、三ノ倉、権田の四つの駐在所が置かれています。

問 3 4

次の文章のうち、【ア】～【ウ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎は【ア】の全国有数の産地で、昔から群馬県や高崎地域では、うどんやおつきりこみ、炭酸まんじゅうや焼きまんじゅうなどの粉ものの文化が浸透しています。特にうどんが良く食されたのは、明治時代から昭和40年代にかけて高崎市周辺で家庭用の【イ】の普及率が高かったためと言われています。

今ではこの粉食をもとに、高崎市は「パスタのまち」としてテレビでも紹介されています。特にキングオブパスタは今年も11月に【ウ】で開催され、エントリーした市内パスタ店が腕をふるいます。

ア (1) 小麦 (2) 大麦 (3) 米 (4) トマト
〔正解 1〕

イ (1) 精米機 (2) 製粉機
(3) 製麺機 (4) 電気炊飯器
〔正解 3〕

ウ (1) みさと芝桜公園
(2) 観音山ファミリーパーク
(3) 道の駅くらぶち小栗の里
(4) もてなし広場
〔正解 4〕

●解説

高崎は小麦の全国有数の産地で、昔から群馬県や高崎地域では、おつきりこみ、うどん、炭酸まんじゅうや焼きまんじゅうなどの粉ものの文化が浸透していました。特にうどんが多く食されたのは、明治時代から昭和40年代にかけて高崎市周辺での家庭用の製麺機の普及率が高かったためだと言われています。製麺機は当時養蚕や農作業で忙しかった農家では重宝しました。

粉ものの文化を基礎に今では高崎市は「パスタのまち」として、いろいろなテレビ番組で紹介されています。

キングオブパスタは「高崎市と周辺地域の食文化を、パスタを通じて盛り上げる活動」として行われているイベントです。2024年も

11月に「もてなし広場」で開催され、エントリーした市内パスタ店が腕を振るいました。2009年から始まり昨年は記念すべき15回が行われました。

問 3 5

次の文章のうち、【ア】、【イ】に適するものは、下の選択肢のそれぞれどれでしょうか。

高崎まつりは、おもに①山車まつり、②【ア】、③大花火大会で構成されています。このうち①は、「高崎の山車行事」として本市の重要無形民俗文化財に指定されています。

一方で、高崎地域では、国や市の祝賀や記念日に、町内の山車を巡行させました。実際に山車が曳かれて祝賀が行われた出来事の一つとしては【イ】があげられます。

ア (1) 獅子舞 (2) 相撲 (3) 競馬 (4) 神輿渡御^{みこしとぎょ}
〔正解 4〕

イ (1) 白衣観音建立 (1936年)
(2) サンフランシスコ講和条約発効 (1952年)
(3) 群馬音楽センター落成 (1961年)
(4) あかぎ国体開催 (1983年)
〔正解 3〕

●解説

2024年8月、高崎まつりは第50回目を数えることとなりました。その第1回目は1975年に開催された第1回「高崎ふるさと祭り」で、この祭典を企画・計画したのは高崎青年会議所でした。つまり記念すべき第1回は市民による手作りのお祭りだったのです。そして1985年には、第11回「高崎まつり」に引き継がれました。

ところで高崎まつりを構成する要素の一つに「高崎山車まつり」があります。そもそも山車とは祭りに担がれ、曳かれる屋台のことを指し、全国では鉾、山、壇尻^{だんじり}とも呼びます。

高崎の山車の原点は、上述の高崎まつりより古く、江戸時代に頼政^{よりまさ}

神社（宮元町）へ道祖神屋台による奉供を行ったことにさかのぼります。明治時代以降には、国の式典（大正・昭和天皇即位式、紀元2600年記念）、市の行事（市制50・60周年記念、水道創設50周年記念、群馬音楽センター落成記念）などに山車や道祖神屋台が曳かれて祝いました。

現在残る「高崎山車まつり」の山車については、明治40年代から大正時代にかけて製作されたもので、その多くが小型です。理由としては、明治時代に市内の道路に路面電車を敷設して道幅が狭くなり、電柱や電線を設置したことで大型の山車の通行が不可能となったことが考えられます。一方で、山車上部には町内ごとに異なる人形が据えられたのも特徴の一つとされています。この山車人形は、歴史上の人物や日本神話、能や歌舞伎の演目などに題材をとったものが多く、各町内の山車の目印とされています。

高崎学検定委員会